

教育いちかわ

市川の学校教育3か年計画

1. 確かな学力をはぐみます
2. 豊かな心をはぐみます
3. 健やかな体をはぐみます
4. 信頼される開かれた学校をつります

発行 市川市教育委員会
〒272-8501 市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111
企画編集 市川市教育センター
〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335
FAX 320-3352

コンピュータ室で一人1台のPC環境が実現!



市川市では、平成13年度に全ての公立小中養護学校に校内LANを敷設し、各学校50台前後のコンピュータを配置してインターネットを活用した学習環境を整備しました。その時の機器が更新時期を迎え、3月1日に新しい機器での「新ネットワーク」が動き始めました。市内教育用コンピュータの総数は、約4900台。この更新により文部科学省のコンピュータ新整備計画の基準を達成することになりました。

高速・大量のデータのやりとりが可能になります

各学校のコンピュータ(以下PCと略記)設置数が増えたことにより、授業や諸活動において、児童生徒がPCに接する機会が多くなります。特にPC室では、一人に1台が使用可能となり、これまでの二人に1台の環境から大幅に改善されました。また、通信回線も高速化され、今まで以上に快適にインターネットを利用することができます。

新しいシステムでは、以下のようなことが可能になります。

- 個人のIDでログインし、自分専用のフォルダを管理できる。
- 動画・静止画などのデジタル素材を検索したり、活用しやすくなる。
- ネットワークカメラで、観察記録などのデジタル素材を作成できる。
- ネットワークの内側(イントラネット)で高速・大量のデータがやりとりできる。
- テレビ会議システムの導入により、離れた場所での協同学習・話し合い活動・会議・研修などができる。



PC室の学習風景。市内が同様の環境になる。

新しいPCは、シンクライアントシステムで稼働

今回のシステムは、「シンクライアントシステム」を導入しました。シンクライアントの「シン」は英語表記では「thin」となり、「薄い」という意味です。PC機器本体にハードディスクを持たないために、メンテナンスや情報管理に優れています。

このシステムをみんなで使いながら、PCを活用する上で大切な情報モラルやマナーの育成を進めていくとともに、「PCを学ぶ」から「PCで学ぶ」ような、PCの有効な活用方法を探っていきたいと思っています。

[教育センター]

平成18年度 児童生徒学習賞 表彰式



2月13日(火)、平成18年度の児童生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、学校の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。本年度は、個人19名及び9団体が受賞し、千葉光行市長から賞状と記念品が授与されました。皆

【団体表彰】

敬称略

学校名	団体名	大会名・コンクール名	受賞内容
新浜小	吹奏楽部	東関東吹奏楽コンクール	金賞
南行徳MBC(男子)		千葉県ミニバスケットボール大会 男子の部	優勝
塩浜中	男子バスケットボール部	千葉県中学校総合体育大会 千葉県中学校新人体育大会	第1位
南行徳中	合唱部	全日本合唱コンクール 全国大会	金賞
市立養護	高等部	千葉県盲聾養護学校高等部駅伝大会 ハーフ駅伝の部	優勝
昭和学院中	新体操部	全国中学校新体操選手権大会 団体の部 関東中学校新体操大会 団体の部	準優勝 優勝
昭和学院中	体操競技部	千葉県中学校新人体育大会 体操競技 団体総合	優勝
昭和学院中	男子水泳部	千葉県中学校水泳競技大会男子総合の部 千葉県中学校新人水泳競技大会 男子総合の部	優勝 優勝
和洋国府台 女子中	水泳部 (佐藤・田中・宍倉・瀧上)	千葉県中学校水泳競技大会 女子400mメドレーリレー	第1位

【個人表彰】

敬称略

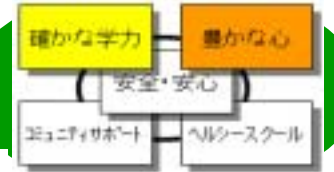
学校名	学年	氏名	大会名・コンクール名	受賞内容
大野小	1	吉田 ケイワン	全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部1年生30kg級	第1位
大野小	3	吉田 アミン	千葉県少年少女レスリング大会 小学生の部3・4年生30kg級	第1位
塩浜小	4	雨宮 七彩	国民文化祭・やまぐち2006文芸祭 現代詩大会 小学生の部	国民文化祭 実行委員会 会長賞
富貴島小	5	矢野 仁愛	千葉県「課題図書」小・中学校 児童生徒読書感想文コンクール	最優秀賞
中国分小	5	富永 有美	「てのひら文庫賞」読書感想文 全国コンクール	審査員 特別賞
新浜小	6	西 彩乃	全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会女子50mハーフライ	第1位
塩焼小	6	岡本 誠司	全日本小学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門 小学校の部	第1位
第二中	3	山田 功介	千葉県中学校総合体育大会 剣道男子個人	優勝
第七中	3	河野 航	千葉県中学校水泳競技大会 男子400・200m個人メドレー	第1位
第八中	3	山口 圭司	千葉県ジュニアオリンピック選手権 最終選考会男子A・B共通ジャバリックスロ	第1位
南行徳中	2	向谷 美咲	全日本中学ボウリング選手権大会	優勝
市立養護	高3	桑山 彰太	千葉県盲聾養護学校高等部駅伝大会 ハーフ駅伝の部 区間記録	第1位
市川中	3	横道 令奈	日本学生科学賞 千葉県審査	最優秀賞
昭和学院中	3	岡本 彩	千葉県中学校総合体育大会 体操競技 個人総合	優勝
昭和学院中	2	奥西 恵里	千葉県中学校新人体育大会 体操競技 個人総合	優勝
日出学園中	1	小池 美樹	こどもエコ絵画コンクール	審査員 特別賞
日出学園中	2	小関 慶汰	わんぱく宣言2006! 全国こども作文・スピーチコンテスト	優秀賞
日出学園中	3	富樫 沙織	千葉県中学校総合体育大会 新体操 個人総合	優勝
和洋国府台 女子中	1	牧 ゆりか	千葉県中学校水泳競技大会 女子400m個人メドレー	第1位

[指導課]

なるほどね、そうなんだ！ 学ぶ意欲の向上をめざして

～ 創意と活力のある学校づくり 学力向上推進校公開研究会から ～

学習活動の改善を中心に、教育活動全体の充実を図り、豊かな心と確かな学力をもった子どもの育成をめざした取り組みが始まっています。1年間を振り返り、学力向上にスポットをあてた実践を1枚の写真をも



[指導課・教育センター]

子どもたちが、子どもたちの中で活動している姿がとても印象的。菅野小と第二中が連携しての研究発表会での一コマ。国語の授業。



子どもたち同士の話し合いが、どんどん深まっていく様子に、先生方も感心しきり。参観した先生方の声をいくつか紹介します。

書くことに力点を置き、やるべきことがはっきりしているのが成果がよく現れていた。先生方の表情がよく、活動しやすい支援がなされていた。(市内：女性)

これまでも何度も公開研究会を参観してきましたが、今日は、児童のよさ、先生方のよさが十分発揮されていますね。(市内：男性)

2年生を見学したが、低学年でも「書く力」がついていて、文章をよく理解している様子に驚きました。ワークシートの準備がよかったのですね。(浦安市：女性)

指導したい内容にあわせているような教材を活用しているのに感心しました。テーマにあっているものを選んでいきますね。自由な雰囲気での授業をしている様子は、(私の市と)変わらない感じを受けました。(成田市：男性)

学習する環境がよく整っていますね。掲示物へのコメントが素晴らしい。(市内：女性)

10月13日 菅野小学校・第二中学校

はい。ポーズ。お気に入りの飛行機をもって被写体になってくれました。



公開保育の時間。

園庭・教室・プレイルームなどで元気に遊ぶ園児たちの姿を、市内の幼稚園の先生方約80名が見守りました。

環境を上手に利用している保育の取り組みを参観し、その後、研究発表と講演会(磯部頼子先生:パネ次世代育成研究所顧問)が行われました。「人生の中で初めて接する幼稚園の先生に対する信頼感が、その後の人間形成に大きく係わる。」という言葉に、参加者が大きくうなずいていました。

11月1日 二俣幼稚園



しっかりと役割分担して観察に臨む。ルーペを使ったり黒い台紙を背面に利用したりと工夫がみられる。

理科の授業。

「もののとけ方」の第1時間目の授業。

先生の演示(普段使わない長いアクリル管から食塩を落とす)を見て、「おっ」と歓声があがりました。さっそくグループで実験すると、「なんか幻想的・・・」「途中で消えている・・・」など、さまざまなつぶやきが聞こえてきました。この児童のつぶやきが授業をつくっていくのですね。子どもの感覚ってすごいです。

11月14日 中山小学校



のびやかに手をあげる。はぁ～い。算数の授業。

箱の観察や箱づくりの活動を通して、面・辺・頂点に着目し、「はこの形」を分析的にとらえていきます。視聴覚機器を上手に活用して視覚的な理解が深まっています。時間がたっても子どもたちの手の勢いは止まりませんでした。

11月30日 真間小学校



「発表を聞いて質問はありませんか。」「米づくり」を通して、体験活動をさまざまな取り組みに広げていく。

総合的な学習の時間。

各グループが調べ上げたことを発表し、それを聞く側とともに高めあっていました。何をめざして学んでいくのかというめあてがはっきりしていました。「学ぶ意欲」は継続し、伸びていくのですね。

12月4日 妙典小学校

骨が語る！達人に学ぶ動物の世界



実物を見て、さわること、ひらめき生まれる



「骨を見て何か気づいたことはないかい？」にこやかな表情で語りかけるのは、市川市動植物園獣医師の河合昌幸先生。10月18日に第四中で行われた理科研究授業です。

目の前に置かれた大きな骨格標本は、安佐動物公園(広島市)から借りたライオン・シマウマ・キリンです。生徒たちは、実際に骨にさわって、やや興奮気味でした。

「骨に小さい穴が空いてる」「鼻のところの穴が1つだ」「歯の形が肉食っぽい」などの様々な発見を繰り返しながら授業が進みました。あっという間の50分。クラスを半分に分けて少人数で行っている効果もあり、先生・教材との距離感がぐっと近づいた授業となりました。生徒の感想からは、「動物は骨から歯まで全てが食べるものや生活する環境によって違うつくりになっているだなんて知らなかったし、他にも知らなかった話が沢山聞けてよかった。またこう

るための動物たちの進化、その体のつくりに感動した。」「私が疑問に思っていたことがよくわかってすっきりしました。」等が出されました。

授業後には、市内から集まった小中学校の理科担当の先生方で、「問題解決力をもった理科好きの子を育てる」というねらいをふまえて話し合いが行われました。「生物の多様性(いろんな種類がいること)の意義に気づいてもらいたい」という河合先生の言葉に、参加した先生方が深くうなずいていました。ここでの「気づき」をどう伸ばし、問題解決力をどう高めていくのか・成長する姿を見守っていきたいと思います。

では、河合先生からの問題です。

Q1 レッサーパンダはどれでしょう？

A 左 B 真ん中 C 右

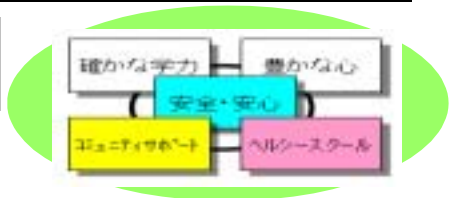
Q2 右の写真はキリンの口を横から撮ったものです。キリンの歯の特徴を考えてみましょう。

Q3 右の写真は、ライオンの顔を上から撮ったものです。目の下の小さな穴の役割は何でしょうか。

答は第4面を参照 [指導課・教育センター]



第3回コミュニティサポート推進委員会・学校地域防災シンポジウムを開催



2月8日(木)行徳文化ホール「I&I」において、平成18年度第3回コミュニティサポート推進委員会(事例発表)及び学校地域防災シンポジウムを合同で開催しました。



(1) コミュニティサポート推進委員会

「中学校区コミュニティサポート委員会の活性化に向けて」

下貝塚中学校区コミュニティサポート委員会 永田 博彦 教頭

下貝塚中学校区では昨年度の反省を踏まえ、今年度は以下の方法でコミュニティサポート委員会の運営を工夫しました。

少年健全育成連絡協議会との合同開催

コミュニティサポートと少年健全育成連絡協議会のそれぞれのねらい、委員構成、協議内容について再確認を行い、合同で開催できると判断して実施しました。

小学校区との合同開催

各学校のコミュニティサポート主任同士が連絡を取り合い、4つの委員会の合同開催とし、共通の話題である「防災」に視点をあて、当日、市役所の危機管理課職員に来てもらい実施しました。

今年度初めての試みで、成果や課題が見えてきており、来年度はさらに円滑な運営を目指していければと考えています。

「みんなで力を合わせ、安全・安心地域づくり」

福栄小学校区コミュニティサポート委員会 新井 直樹 教諭

今年度は、情報交換や日程調整だけでなく、地域ぐるみで何かできないかということ話し合い、以下の4つの取り組みを行いました。

地域団体の活動や様子を掲載した地域に即した独自のパンフレットの作成

各団体の活動に出向いて取材を行い、「たより」を発行
子どもたちを取り巻く安全対策

学校・PTAによる下校時間や週1回のパトロール活動

また、今年度防犯まちづくり検討委員会が設置されたため、コミュニティサポート委員会としてどのように参画していくか計画を進めています

健康増進はみんなの願い!!

ヘルシースクール事業における個別相談、個別指導も2年目を迎えました。各学校では、昨年同様すこやか検診の結果をもとに、養護教諭、栄養士、体育科・保健体育科教科主任などが中心となって、運動・食事・生活リズムを中心とした健康教育を推進しています。



運動に関する指導

順天堂大学との連携により「運動することの楽しさの体感」「少人数や多人数など、家庭や学校で実践できる運動の実践」等を通して、児童生徒に対して運動の習慣化や健康に好ましい生活の確立を図ることを目指しています。

具体的な実施方法としては、市内の小中学校55校を20のブロックに分け、会場となった学校に順天堂大学の助教授やアドバイザーが出向いて運動指導を行ってきました。今年度は320名余の児童生徒が参加し、希望者に対しては、個人面接による相談活動も実施してきました。

食事・生活リズムに関する個別相談

養護教諭、栄養士により個別指導を実施しています。食事面では、県立衛生短期大学に食事調査の協力をいただき、その結果に基づいて指導しています。調査結果の個票には、食品や栄養素の摂取状況を赤＝危険、黄色＝注意、青・緑＝正常として表示しているほか、食べ足りないと困る栄養素、食べ過ぎると困る栄養素等が記載されています。

個別相談を通して日本食の配膳のしきたり、主食・汁物・主菜・副菜というバランスを考えた食事を特に強調して指導しています。

(2) 学校地域防災シンポジウム

<シンポジスト>

- 齋藤 隆氏 (長岡市役所山古志支所 山古志地域復興推進室長)
- 樺沢 三治郎氏 (山古志地区副区長、旧山古志村教育委員会職員)
- 若槻 敬氏 (山古志地区副区長、旧山古志村村議会議員)
- 蒲沢 賢吉氏 (五泉市立五泉東小校長、震災時山古志小校長)
- 稲谷 利輝氏 (兵庫県「人と未来防災センター」語り部、
阪神淡路大震災時神戸市立舞子中校長)

<コーディネーター>

鈴木 郁夫 地域教育課長



冒頭でコーディネーターより、シンポジウムの趣旨説明があった後、地震発生直後から、避難所生活が続く仮設住宅ができるまで 仮設住宅の生活から、自宅へ戻ったり、町の復興が始まる時期の2つの時期に焦点をあて、シンポジウムを行いました。シンポジストの方々は、学校・地域・行政のそれぞれの立場で、それぞれの時期の中での課題や問題、そしてどのように解決したかなど、参加者の方々にメッセージを送ってくれました。会場からは、
・震災にあわれる前の地域の避難訓練の状況はどうだったか。
・いざというときの物資は備蓄されていたのか。
・地域の自治会活動はどういうものであったか。
・避難所としての学校には、事前にどのような準備があればいいか。
・避難所では、小学校高学年・中学生はどのような役割を担っていたのか。
などの質問が出され、シンポジストの方々はご自身の体験をもとに熱心に答えてくれました。1時間45分という限られた時間の中、有意義な会となり、参加された約300名の方々からも「非常に参考になった」「とても良かった」との声が多く聞かれました。 [地域教育課]

お知らせ

“自分で作ったお米はおいしいよ～”

「市川米っ人くらぶ」稲作体験者募集

暑い日や寒い日もあって大変だけど、田おこしから収穫まで体験しませんか。お友達もたくさんできますよ。また、子ども好きで稲作にお手伝いしていただけるボランティアも大歓迎です。詳しくは広報で。(2/17号)

問い合わせ先 地域教育課 047-334-1659

少年自然の家が生まれ変わって、7月にリニューアルオープン

改修工事を進めている少年自然の家がいよいよ今夏7月1日に装いも新たにオープンします。今回のリニューアルは、「46万市民のための総合体験ステーション」をめざし、建物だけでなく運営面についても一新し、生まれ変わります。新しい体験活動プログラムや楽しい主催事業を展開し、市民の皆様をお待ちしております。また、学校や青少年団体の利用に限らず、研修を目的とした大人のサークルやグループでの利用も可能になります。食事の献立も増え、充実した内容になります。ぜひ、ご利用ください。

利用についての問い合わせ先 市川市少年自然の家 0

[地域教育課]



生活リズムについては、望ましいライフスタイルを確立するために、生活リズム表やヘルシーダイアリーを使って児童生徒の支援、指導を行っています。具体的には児童生徒が自分の身体を自己管理するために定期的に体重を計ったり、毎日の生活をチェックしたりすることを促しています。

健康教育はすぐに結果が出るものではありませんが、児童生徒が心身共に生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校や保護者と連携を図りながら取り組んでいきます。そして、専門医の先生方の言葉を借りれば、現代における大きな国民的健康課題である生活習慣病を小児段階でくい止めることができるよう、その予防と啓発に努めていきます。

[保健体育課]

フレッシュパワー充実のきざし・まとめることで力量アップ

～ 教育実践記録論文 表彰式・発表会 ～



2月20日(火)、グリーンスタジオにおいて「教育実践記録論文」の表彰式・発表会が行われました。昭和54年に始まり28回目を迎えた本年度は、経験5年以下の先生方を対象にした「フレッシュ部門」が創設されました。その効果があつてか、昨年度を超える数の応募があり、11月の一次審査、二次審査を経て、表のように受賞者が決定しました。(敬称略)



一般部門最優秀賞の発表場面

当日、大熊徹審査委員長(東京学芸大学教授)より審査結果が発表され、西垣惇吉教育長から賞状が授与されました。講評では、応募された論文の質が高かったという話がなされました。その後、「最優秀賞」に輝いた2

【フレッシュ部門(経験5年以下)】 敬称略

前田 朗子	福栄小	算数	図形を観察し構成する感覚を磨く ～第2学年「形づくり」の学習を通して～	最優秀賞
佐々木 麻希	大野小	生活	みんなありがとう! 「心も体もく～んとのびたよ」	優秀賞
高石 哲男	第八中	理科	倫理観を育てるための理科教育 ～科学史と最先端技術から学ぶ～	優秀賞
深瀬 里美	大野小	総合	自分の手で命のぬくもりを感じて・・・ 「ようこそ! 3年3組ミルキーハウスへ」	優秀賞
多田 恭章	宮久保小	総合	算数科補習指導 ～子供たちの算数に対する 苦手意識を克服するために～	優良賞
名川 智久	百合台小	総合	金融教育の役割と実践について	優良賞

【一般部門】 敬称略 [教育センター]

受賞者氏名	学校名	教科領域等	論文タイトル	賞
谷地 智恵 井出 伸枝	大柏小	特別活動	朝食できらめく一日を! ～保健・給食委員会の活動を通して～	最優秀賞
石橋 智子	稲荷木小	国語	主体的に読む子をめざして ～お話しの出前します! つばやき入り「きつねのおきゃくさま」～	優秀賞
東條 美和子	市立養護	特別支援	自ら選択、決定していく力を育む特別支援教育 ～私の夢をかなえたい～	優秀賞
中嶋 信子 高桑 弥須子	稲越小	国語	読む楽しさを味わうと同時に、 読みの力をつけるために ～5年「森林のおくりもの」の学習を通して～	優秀賞
山本 広美 森 幸子	菅野小	健康教育	ピカッとした歯で健康づくり ～生涯にわたる健康教育の定着化をめざして～	優秀賞
青木 利雄	大野小	道徳	ひとりひとりがよく考える 楽しい道徳の時間をめざして ～発問と書く活動の工夫を通して～	優良賞
中村 礼子	国分小	体育	「ひとりじゃないよ いっしょだよ」 ～体育科学習を通して～	優良賞
野口 美津子	国府台小	算数	ストーリーのある教材、単元構成をめざして ～低学年の算数科学習を通して～	優良賞

市川市立養護学校分校設置経過報告

～ 共生・協働～

教育委員会は、これまで市川市立養護学校の教室不足の解消と新たな教育連携の可能性を目指して、稲越小学校に養護学校の小学部を併設する計画を進めてきましたが、平成20年4月開校に向けての改修計画の概要がまとまりました。

校舎の利用区分(1階と4階の一部 養護学校、2階から4階 稲越小学校)や改修内容は、稲越小学校、養護学校及び両校保護者の代表者等で組織した検討会での意見や要望事項をできるかぎり反映し、教育環境として両校の独自性を確保するとともに、バリアフリー化や安全対策など細かい部分まで配慮いたしました。

今後は、3月下旬から改修工事を始めるとともに、開校までの諸準備や両校の教育活動を円滑に行うための運営委員会を立ち上げる予定です。 [企画調整課]

平成19年度「いちかわ市民アカデミー講座」のご案内

「いちかわ市民アカデミー講座」は、市内にある昭和学院短期大学・千葉商科大学・和洋女子大学の協力を得て開講しています。平成19年度も受講生を募集します。多数のご応募をお待ちしています。

[募集事項] 定員各大学50名 受講料4,000円(年間)

[受付期間] 平成19年4月中旬～5月中旬(予定)

広報いちかわ・市川市のホームページでご案内します。

[学習期間] 平成19年6月～平成20年2月(年間10回)

[目的] 各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設など恵まれた環境の中で、新しい知識を習得し、広く仲間づくりを図るとともに、学習の成果を地域活動の中に生かす。

[講座内容] 各大学で学習テーマを設定する。

各大学の専門分野を中心に、実生活に即した身近な問題や市川に関わりのあるものになる予定です。

[問い合わせ] 生涯学習振興課 電話 334-1657(直通)

～ ありがとう。優しい言葉を伝えよう。～

教育問題が重要課題として注目を集める中、1月6日に南行徳中学校ブロック(富美浜小・南行徳小・新井小・南行徳中)の健全育成連絡協議会と各学校PTA共催の「教育講演会」が開催されました。

講師の先生は、「夜回り先生」の愛称で親しまれている水谷修さん。(水谷青少年問題研究所)16年前に夜間学校に勤める友人の相談にのったことがきっかけとなり、夜間高校の先生になり、以後、青少年問題と真正面からつきあってこられた方です。講演会は、あいにくの雨にもかかわらず、地域の方々・保護者・児童生徒・教職員で会場の体育館をいっぱいにするほど盛況となりました。

テーマは、「今、子どもたちは～私たちにできること、しなければならぬこと～」水谷先生は、夜の街の中で悩み、苦しむ子どもたちに寄り添うなかで見つけてきたこと、気づかせてもらったことなどを具体的な事例をあげてお話されました。「たばこをやめたいと思ってもやめられない人はたくさんいます。1度経験するだけで中毒になる薬物(ドラッグ)は、やめたくてもやめられなくなるのです。」水谷先生の話は、実在する子どもたちを取り上げていました。一人一人の存在が浮かび上がってくるような熱い語り、会場を埋め尽くした聴衆は時間を忘れて聞き入っていました。

講演の中で、水谷先生からの「提案」がありました。それは、「身近なところから、優しい言葉をかけあつていこう。」というものです。



「優しい言葉をかけあおう」と水谷氏

「言葉には大きな力があり、優しい言葉、きれいな言葉は、人を勇気づけることができる。」「家庭で、地域で、身の回りから、優しい言葉の花を咲かせよう。」などです。講演の副題である「私たちにできること」を再確認させてもらった貴重な時間に

[教育センター]

第2面 「骨は語るクイズ」の答え Q1: B (左は かわうそ 右は日本ザル) Q2: 上あごの前歯にあたるところに歯がない。 Q3: 神経などが通るための穴。

第7回 縄文体験フェスティバル in 堀之内貝塚

平成19年3月25日(日) 10:00～15:00 申込・参加費不要

子どもから大人まで、すべての人々が気軽に参加して楽しめる地域まつりも、おかげさまで7回目を迎えました。国史跡の堀之内貝塚と考古・歴史博物館があるという地域的な特性を生かし、縄文人の生活を追体験できるコーナー・ちょっと昔の遊び・模擬店など楽しい企画が盛りだくさんです。ぜひ、お越し下さい。

今までに開催したイベント(例)

考古博物館周辺・・・火おこし体験・縄文造形教室・どんぐり粉づくり など
堀之内貝塚公園・・・フリーマーケット・たんけん堀之内貝塚 など
歴史博物館隣接広場・・・縄文を食べよう・模擬店・ちょっと昔の遊び など

自然博物館からのお知らせ

散策会(市内の自然が豊かな場所を気軽に散策します)

3月18日(日) 午前
大町自然公園
テーマ: 早春の谷津

参加申し込みは不要。集合場所はお問い合わせ下さい。なお、はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせ下さい。また、雨や大風など天候不良の場合は中止です。TEL: 339-0477